

3月議会を傍聴して

中島　牛越　邦夫

は面白かった。
服部議員が何回も取り上げている問題のひとつに眼鏡要

「眼鏡支援」の際と全く矛盾する答弁に傍聴席も「こつくりとなる一般質問を行った。

山本久子議員は、4期16年

の町議会議員としての締めくくりとなる一般質問を行った。

山本議員は質問のなかで、「地域経済波及効果が4倍もある住宅リフォーム助成制度の創設」を強く求めた。

さらに、共産党ファンクラブがよびかけ実行委員会を結成して開いた「TPPシンポジウム」に出席した振興課長

にその感想を求めるとともに、

シンドジウムの場でも強調さ

れただけではなく国民の命と国

の安全保障に直結し、経済・雇用にも甚大な影響を与えるTPP

参加に反対するとりくみ

を町ぐるみで行うこと」を町に

迫った。

山本議員はまた、「議員定数」、「日本で最も美しい村」、「国保」、「町民活動サポートセ

ンター」などの問題で町長の基本姿勢を厳しく追及、締めくくりにふさわしい質問を展開した。

山本議員、長い議員活動本當にご苦労さまでした。

池田町の3月定例議会で、一般質問が3月15・16日に行われた。ここでは、8名の議員が町長の基本姿勢などを中心に質問を行った。

服部久子議員は、社会的弱者の立場を代弁し、「高齢者の足の確保」「子育て支援」などについて質問した。

「高齢者の足の確保としてタクシー券を出したらどうか」との問いに、町は「非課税世帯に限って計算しても1000万円かかるので実施は難しい」と答弁。

これに対して「スクールバスの空き時間を利用して、試験的に実施してみたらどうか」と重ねて質問すると、「子どもたちの遠足もあり、通学以外に使うのは無理」と回答。服部議員は「遠足は年1～2回ではなく、やつてもらいたい」と強く要求した。傍聴席からは「いいアイデアだ」とうなづく人も。

子育て世帯支援に関する服部議員の質問に対する町の回答

服部議員は、「就学援助受給世帯には眼鏡支援が必要だ。眼鏡が買えず勉強がおろそかになるのでは、憲法で保障された平等に教育を受ける権利に反する。必要な児童全員に出しても35万円程度で済むし、次年度からは5万円の支出で済む」と町の対応を質した。

これについて町は「どこもやつてない、近隣町村と足並みを揃えたい」と横並びの回答。

続いて服部議員は、「18歳までの医療費無料化（前回の町の回答は、およそ250万円措置すれば実現可能とのことであつた）は、多額の予算を使うのではなく、松川村において多く行われている。若い世帯は何故池田町はやつていなかを考へる。児童数は松川の方が多いくなっていることを重く受け止めてほしい」と町の対応を強く求めた。

これに対する回答は「松川とは財政事情が違う」というもの。

ももこの健康教室

骨粗しょう症と日光浴

春から夏にかけては最も紫外線の強い季節です。気になる紫外線ですが、人の骨の強化にはとても必要なものです。

日光のなかにある紫外線は、皮膚でビタミンDを合成したり、食物からとりこんだビタミンDを肝臓や腎臓で活性化したりします。紫外線によって活性化されたビタミンD（活性化ビタミン）があつてはじめてカルシウムが骨に吸収されるのです。

高齢になってから急にカルシウムやビタミンDを摂取して

も、実際には骨へのカルシウム吸収率が低下しているため、回復は簡単ではありません。薬などが必要になる場合もあります。40歳ころから毎日食

物からとりましょう。

カルシウムが溶け出すため、骨の内部が軽石状にスカスカになります。

女性ホルモンは、骨にカル

シウムを吸収させるという非常に良い作用がある半面、ホルモンの分泌がとまるとき、骨密度を低下させます。特に女性は高齢になると、転んだり、尻もちで足の付け根を骨折することはよく知られています。

高齢になってから急にカルシウムやビタミンDを摂取して

も、実際には骨へのカルシウム吸収率が低下しているため、回復は簡単ではありません。薬などが必要になる場合もあります。40歳ころから毎日食

物からとりましょう。

カルシウムの多い食品

（桜えび、しらす干し、大根葉、小松菜、ひじき、牛乳、乳製品）

ビタミンDの多い食品

（さけ、さんま、鰻などの魚類、しいたけなどのキノコ類）

薄井 百子

日本共産党池田支部長 山本久子さんからの訴え
町議選 一気に激戦に！
共産党つすい・服部候補への大きな支持を！

服部 久子（62歳）

服部地域

千本木台、半在家、相道寺、花見、滝沢、滝の台、林中、和合、内籠、渋田見、鶴山、十日市場、中之郷、南台、高瀬橋南、法道、広津、陸郷

うすい 孝彦（65歳）

うすい地域

一丁目、二丁目、三丁目、四丁目、五丁目、東町、吾妻町、豊町、正科、堀之内、中島

部内資料

114号

2011年4月

町議選特集

発行責任者 村端 浩（62-8440）
議員連絡先 山本 久子（61-1066）
服部 久子（62-4357）
候補連絡先 薄井 孝彦（62-5093）



被災者の皆様に
心からお見舞い申し上げます

3月11日に発生した東日本大震災は、死者・行方不明者が2万人を大きく超え、20数万人の方が家や財産を失つて避難所生活を送られています。被災されたみなさま、関係する方々に、心からお見舞い申し上げます。

震災対策を進めるためにも、正々堂々と、政策で町議選を

日本共産党池田支部
支部長 山本 久子

日本共産党確保に会員・読者の皆さんの力をおかしください。

日本共産党池田支部
支部長 山本 久子

有権者の選択肢を狭めることになります。池田町では、「無風」から一転、定数をわざわざ立候補によって、一気に激戦の様相を見せています。各陣営とも必死で誰が落ちてもおかしくない選挙になっています。「福祉・教育の充実」と「災害に強い町づくり」を掲げて、政策でたたかう共産党候補を何としても押し上げなければなりません。

日本共産党的2人の議員はこの4年間、皆さんどころに直接出向き、要求をお聞きして町に届けてきました。また、「池田民報」や「議員通信」を発行して、自分たちの活動や町の動き、議会の様子をお知らせしていました。

政策を作る場合も、皆さんにアンケートで意見を出していただき、集団で論議し、研究して作り上げてきました。

日本共産党的2議席は、皆さん的要求を実現するためのかけがえのないものです。是非この議席を守つて欲しい、力をかけて欲しいとお願いいたします。

▼「いつ家に帰れるのか」「遺体の捜索すら出来ず無念だ」・地震と津波で全てを失い、しかも高い放射線量のため安否確認もできない福島の避難住民の苦悩を目のあたりにしてやりきれない思いで一杯になります▼国会での「大津波で電源が失われれば炉心溶融など大事故の危険がある」との共産党的指摘に、全く耳を貸さなかった経産省・東京電力。「安全神話」を振りまき原発政策を推進してきた歴代自民党政権。これらが一夜にして崩壊したのが今回の事故です▼重大事態を前に政府や当事者から出てくるのは「想定外」という言葉。これほど無責任な物言いもありません。明らかに今回の原発事故は人災です。政府と東京電力は、情報を正確に伝えるとともに、住民の安全を守るために、あらゆる対策を講じるべきです▼被災地支援池田町民ネットワークは、支援物資の提供や募金をよびかけ、寄せられた多数の物資を現地に送りました。よびかけにこたえて支援物資を寄せた町民は世帯数の1割にのぼります。被災した人々によせる池田町民の優しい心遣いを感じます▼折しも町議会議員選挙。住民のいのちと安全を守る政策をかかげ、実現の先頭に立つ2名の共産党候補を高位で当選させ、災害に強い町づくりをすすめましょう。